

令和3年度全国体力・運動能力、

運動習慣等調査結果

新ひだか町の 調査結果について

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が全国の小学校5年生

と中学校2年生を対象に行われ、各小中学校において実技調査8種目を実施し、併せて運動習慣や生活習慣に関する質問紙調査も実施しました。

町内小中学校の調査結果および分析結果と、町全体としての体力・運動能力向上策についてお知らせします。

体力・運動能力

体力・運動能力の結果については、下段のレーダーチャートのとおりですが、小学校では男女ともに握力、反復横跳び、ソフトボール投げの3種目で全国・全道平均を上回りました。

中学校では、男子が握力とハンドボール投げの2種目で、女子が握力、長座体

前屈、反復横跳び、ハンドボール投げの4種目で全国・全道平均を上回った結果となりました。また、中学校女子は体力合計点（総合点）が、全国平均を上回りました。

この調査結果を分析すると、当町の小学生は「筋力」「敏捷性」「投球能力」が全国・全道平均よりも高い一方、男女ともに「疾走能力」「柔軟性」「筋持久力」「全身持久力」に課題がある状況です。

また、中学生では男女ともに「筋力」と「投球能力」が全国・全道平均よりも高く、加えて女子では「柔軟性」と「敏捷性」も全国・全道平均よりも高い一方で、男子は「筋持久力」、「柔軟性」、「敏捷性」、「疾走能力」、「全身持久力」に課題がある状況です。

運動に対する意識

運動に対する意識については、小学校では「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合が、男子では

「楽しい」と「やや楽しい」を合わせて全国・全道平均を上回り、女子では「楽しい」が全国・全道平均を大きく上回る結果となっております。各学校が、運動嫌いや苦手意識を持たせない授業の工夫に取り組んだ結果であると言えます。

また、中学校では「コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間の増減」に対して、男女ともに「以前よりも増えた」が全国・全道平均を上回っており、臨時休業などで低下した体力を回復しようとした結果であると分析しています。

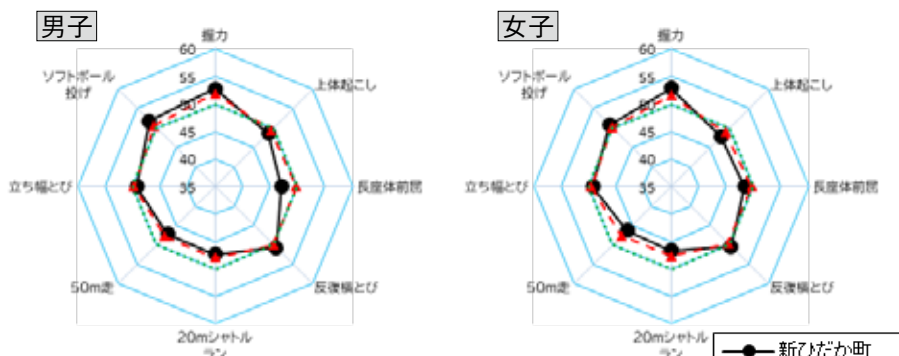
1校1実践

これらの調査結果を踏まえ、町内各学校では、体力・運動能力向上策として、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定して積極的に授業改善を図っていくとともに、「1校1実践」の取り組みや、教員の指導方法の工夫・改善にも継続して力を入れていくこととしています。

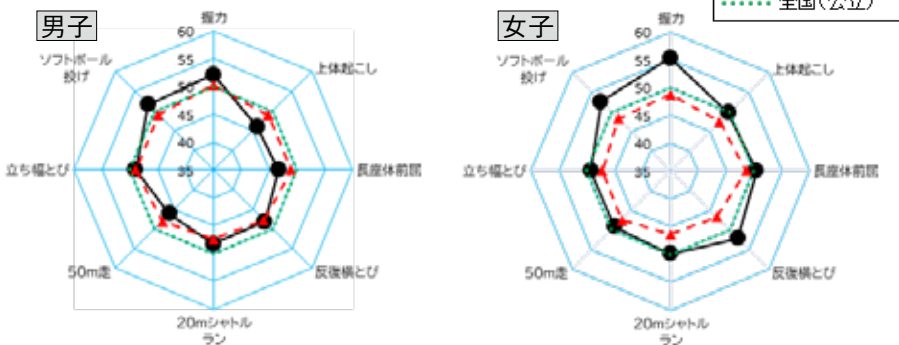
体力・運動能力に関する調査の結果【各種目の状況】

※全国の結果を50としたときの数値をレーダーチャートで表示

小学5年生（学校数：6校 児童数：174名）



中学2年生（学校数：3校 生徒数：166名）



新ひだか町の体力向上策

- ◎体力向上に関する「1校1実践」の充実
- ◎学校の体力向上・運動習慣の定着に向けた取り組みにおける地域の人材活用
- ◎新体力テストの結果に基づく体育の授業改善
- ◎「早寝・早起き・朝ごはん」運動など、望ましい生活リズムの確立
- ◎スポーツ教室や大会などの運動機会の確保と参加促進
- ◎望ましい食生活および食習慣を身に付けさせるための食育の推進

【問合せ】教育委員会管理課 ☎ 49 - 0088